

【プロジェクト概要】

既存の照明設備を高効率のものへ更新することで、排出量の削減を行う

【プロジェクトの適格性基準】

条件1. 既存の照明設備の更新であること

条件2. 導入する照明設備は、代替される照明設備より高効率であること

条件3. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと

排出削減量の算定で考慮する範囲

<既存の照明設備(例)>



40W 蛍光灯
2本

更新

<更新後の照明設備(例)>

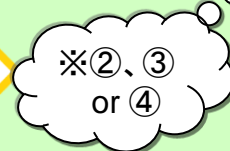


32W 蛍光灯1本
+ 反射板設置



60W
白熱電球

更新



7.8W
LED電球

※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

①代替される照明設備の瞬時電力使用量(実測データ、またはカタログ値)

<導入する照明の年間電力使用量を計算により求める場合>

②導入する照明設備の瞬時電力使用量(実測データ、またはカタログ値)

③照明設備の年間稼働時間(実測データ、または保守的な管理データ、推定データ)

<直接計測により年間電力使用量を求める場合>

④導入する照明設備の年間電力使用量

【プロジェクト概要】

高効率なボイラー装置への更新により、ボイラー稼働に伴うCO2排出量の削減を行う

【プロジェクトの適格性基準】

条件1. ボイラー装置の更新であること

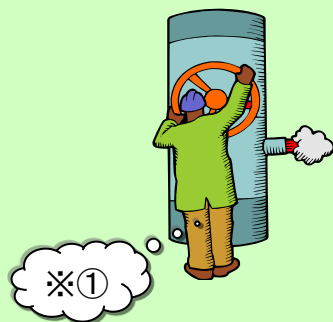
条件2. 既存のボイラー装置と比較してボイラー稼働に伴うCO2排出量が削減されること

条件3. 自家消費される熱・蒸気に関わるCO2排出量のみを対象とする

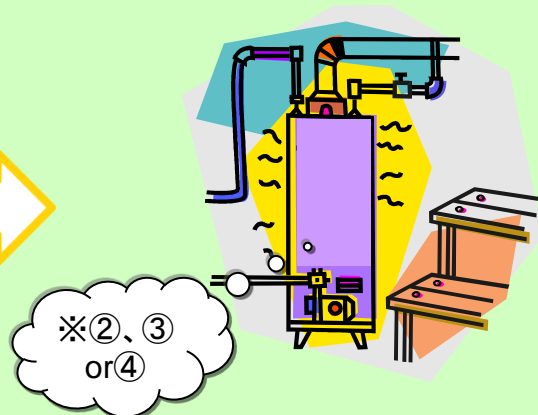
条件4. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと

排出削減量の算定で考慮する範囲

<既存のボイラー設備(例)>



<更新後のボイラー設備(例)>



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

- ① 代替されるボイラーの熱効率
- ② 更新したボイラー設備の効率
- ③ ボイラーにおける化石燃料の消費量
- ④ 更新したボイラー設備から生成された熱量

【プロジェクト概要】

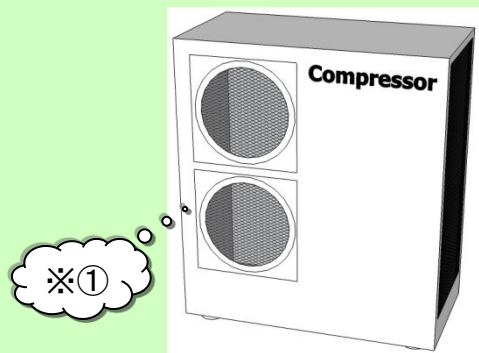
空調設備の圧縮機の更新により、空調設備稼働に伴うCO2排出量の削減を行う

【プロジェクトの適格性基準】

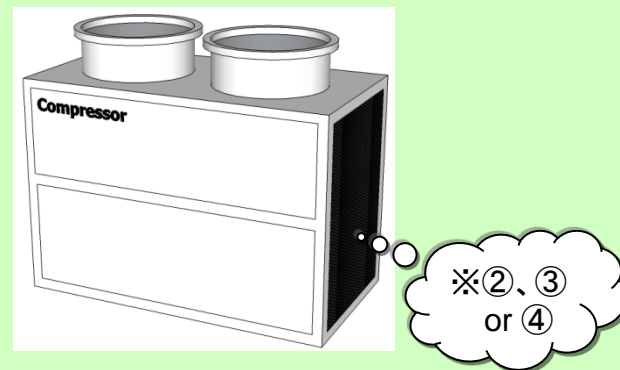
- 条件1. 空調設備の圧縮機の更新であること
- 条件2. 事業者は、空調設備で発生させた暖気または冷気を自家消費すること
- 条件3. 空調設備のエネルギー源は化石燃料または電力に限る
- 条件4. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと

排出削減量の算定で考慮する範囲

<既存の空調設備の圧縮機(例)>



<更新後の空調設備の圧縮機(例)>



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

- ① 代替される空調設備のエネルギー消費効率(COP、APF、ボイラ効率等)
- ② 空調設備のエネルギー消費効率(COP、APF、ボイラ効率等)
- ③ 空調設備全体(ファン等を含む)の年間電力使用量
- ④ 空調設備の圧縮機によって消費される年間化石燃料消費量